

# CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 6/July/2020/vol.596



## シモタファームのフレッシュ・ハーブティー（茨城県産） Fresh Herb Tea

茨城県取手市の「シモタファーム」は、肥料は野菜残渣や腐葉土等を利用して完熟堆肥を作り、土壌や作物等に有害物質が残留しないかを科学的にも分析し、安全な野菜作りを実践している農家です。代表の霜多氏は世界の農業の修学の為、1960年代に中東・ヨーロッパにて有機農業やハーブ栽培を学び、1975年、そのハーブ栽培技術を日本に持ち帰って今の「シモタファーム」に至った経歴があります。日本でハーブが伝わったのはこの「シモタファーム」が始まりといわれています。今では「エビデンスのある野菜」と銘打ち、独自の土作り・栽培方法で、毎日130種に及ぶハーブを中心に多くの作物を作り、一般からプロフェッショナルの料理人に至るまで、多くのファンに支持されています。その先駆者の畑より緑鮮やかな「ハーブティー」が到着しております。生き生きとしたハーブのブレンドから漂うのは香りや味わいはもちろん、戴くたびに体が喜んでくれる1杯の至福です。このハーブティーは霜多氏が当時イギリスの伯爵から教わったレシピを、有名シェフとともに試行錯誤した至高のオリジナルブレンドです。スペアミント、アップルミント、レモンバーム、レモングラス、ローズマリーが繰り出す爽やか、かつ美しい芳香と、後味のスッキリ感は他に例を見ないほど絶妙な配合です。ホットでもアイスでも、そして旬のフルーツを加えてデザートティーにしたりカクテルやシャンパンで割っても心地よい逸品に。ハーブはその有効成分もありますが、繰り出される「香り」には人の脳内ホルモンを活発にし、精神面でも健康に導く力があります。「シモタファームのハーブティー」は今だからこそ、大いに必要とされている安心、安全な自然のエネルギーに違いありません。